

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「インベスコ オーストラリア債券ファンド（年1回決算型）」は、2026年2月20日に第11期の決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

*当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2031年2月20日まで	
運用方針	・「インベスコ オーストラリア債券マザーファンド」受益証券への投資を通じて、豪ドル建ての公社債等に投資を行うことにより、中長期的に安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を図ることを目標に運用を行います。 ・実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
主要運用対象	インベスコ オーストラリア債券ファンド（年1回決算型）	「インベスコ オーストラリア債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	インベスコ オーストラリア債券マザーファンド	豪ドル建ての公社債等を主要投資対象とします。
組入制限	インベスコ オーストラリア債券ファンド（年1回決算型）	・株式への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	インベスコ オーストラリア債券マザーファンド	・株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	原則として年1回の毎決算時（2月20日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合があります。	

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社
お問い合わせダイヤル

電話番号：(03) 6447-3100

受付時間：毎営業日の午前9時～午後5時



インベスコ オーストラリア債券ファンド （年1回決算型）

追加型投信／海外／債券



運用報告書（全体版）

第11期

（決算日 2026年2月20日）

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<https://www.invesco.com/jp/ja/>

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			ブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index)(円換算ベース)		債 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額	
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落	騰 落	中 率			中 率
	円		円				%	百万円	
7期(2022年2月21日)	10,521		0		△ 6.5	11,061	△ 4.6	99.8	67
8期(2023年2月20日)	10,828		0		2.9	11,606	4.9	99.4	55
9期(2024年2月20日)	11,688		0		7.9	12,618	8.7	98.5	56
10期(2025年2月20日)	11,655		0		△ 0.3	12,656	0.3	99.1	46
11期(2026年2月20日)	13,592		0		16.6	14,858	17.4	99.3	53

(注) 基準価額は1万円当たりです。

(注) 当ファンドはベンチマークを定めていないため、参考指数としてブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) を掲載しています。当該参考指数は、計算日の前営業日のブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (オーストラリアドルベース) に計算日のオーストラリアドル為替レート (対顧客電信売買相場仲値) を乗じ、設定日を10,000として、当社で独自に指数化したものです。以下、同じです。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		ブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index)(円換算ベース)		債 券 組 入 比 率
		騰 落	率	(参 考 指 数)	騰 落	
(期 首) 2025年2月20日	円		%			%
	11,655		—	12,656		99.1
2月末	11,435		△ 1.9	12,414		98.7
3月末	11,527		△ 1.1	12,509		98.9
4月末	11,360		△ 2.5	12,362		99.3
5月末	11,507		△ 1.3	12,523		99.3
6月末	11,918		2.3	12,975		99.6
7月末	12,098		3.8	13,168		99.2
8月末	12,085		3.7	13,162		95.5
9月末	12,314		5.7	13,420		99.4
10月末	12,751		9.4	13,910		98.7
11月末	12,797		9.8	13,978		98.4
12月末	12,975		11.3	14,179		99.7
2026年1月末	13,369		14.7	14,604		98.6
(期 末) 2026年2月20日	13,592		16.6	14,858		99.3

(注) 基準価額は1万円当たりです。

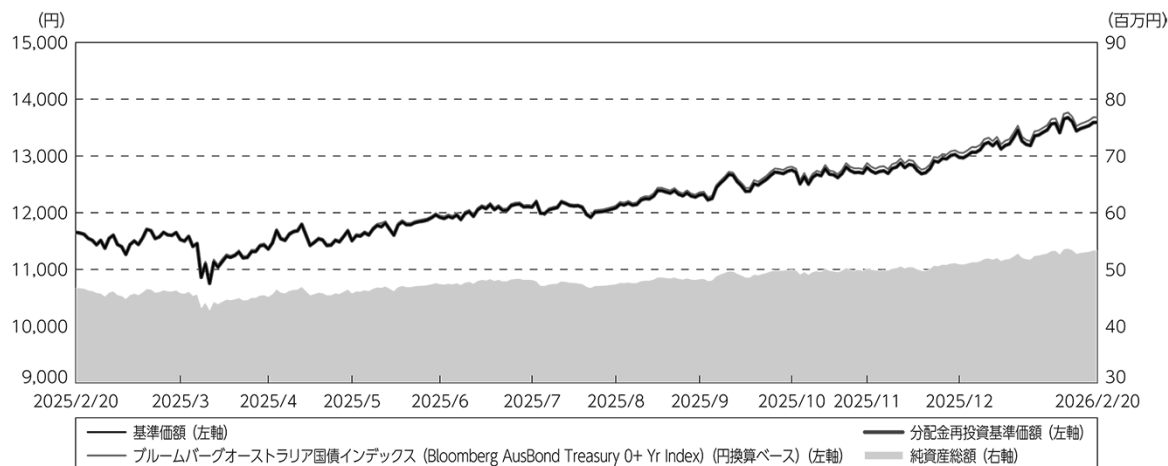
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れていますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2025年2月21日～2026年2月20日)



期首：11,655円

期末：13,592円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 16.6% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース)は、期首(2025年2月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) ブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース)は、参考指数です。

○基準価額の変動要因

[上昇要因]

- ・オーストラリアドル建ての公社債などを実質的な主要投資対象としているため、実質的に保有する債券からのインカムゲイン(利息収入)が基準価額の上昇要因となりました。
- ・実質外貨建資産の為替ヘッジを行わなかったため、オーストラリアドルが対円で上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・幅広い年限で金利が上昇(債券価格は下落)したことが基準価額の下落要因となりました。

投資環境

＜オーストラリア国債利回り＞

2年 4.24%（前期末3.93%）	5年 4.39%（同4.11%）	10年 4.73%（同4.53%）
--------------------	------------------	-------------------

＜対円為替レート＞

オーストラリアドル／円 109円46銭（前期末95円97銭）

※上記は当期末の数値です。

＜債券市場＞

当期のオーストラリア金利は幅広い年限で上昇しました。

期初にかけては、消費者物価指数（CPI）が鈍化したことや米国の大規模な関税措置により世界的な景気後退懸念が広まったことなどから、オーストラリア国債利回りは低下（債券価格は上昇）しました。2025年5月から10月中旬にかけては、米中貿易協議が進展するとの期待などからオーストラリア国債利回りが上昇、オーストラリア準備銀行（RBA）による利下げ観測の広がりなどからオーストラリア国債利回りが低下するなど一進一退の展開となりました。10月中旬から12月末にかけては、予想を上回るCPIの発表などを受けて早期利下げ観測が後退し、RBA総裁が2026年の利上げ可能性を示唆したことなどを背景にオーストラリア国債利回りは上昇に転じました。期末にかけては、RBAが利上げを実施したことなどからオーストラリア国債利回りは高水準で推移し、期を通してみると、当期のオーストラリア国債利回りは上昇しました。

＜為替市場＞

当期のオーストラリアドルは、対円で上昇しました。

期初から2025年4月ごろにかけては、米国の大規模な関税措置により世界的な景気後退懸念が広まったことなどから円高が進行し、オーストラリアドルは対円で下落しました。その後は、参院選を控え日本の財政悪化に対する懸念が高まったこと、日銀が追加利上げを行ったものの、植田総裁が2026年以降の利上げには慎重な姿勢を示したことなどを受け、オーストラリアドルは対円で底堅く推移しました。期末にかけても、RBAによる利上げ観測の高まりなどを受けて、オーストラリアドルは対円で堅調に推移し、期を通してみると、オーストラリアドルは対円で上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

主として、インベスコ オーストラリア債券 マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）に投資を行い、マザーファンドを通じて、オーストラリアドル建ての公社債などに投資を行いました。また、実質外貨建資産の投資にあたっては、為替ヘッジを行いませんでした。

マザーファンドでは、ファンダメンタルズ分析とモデルに基づくクオンツ分析を併用して経済と市場価格の関係の調査・分析を行い、オーストラリアの金利水準や市況動向、信用格付けなどを総合的に勘案して投資銘柄を選定し、ポートフォリオを構築しました。

デュレーション戦略では、期初から2025年6月中旬までは参考指数並みとしました。6月中旬から9月末までは、参考指数に対し小幅にオーバーウェイトとしました。その後、11月末までは再び参考指数並みとしましたが、12月から期末までは参考指数に対し小幅にオーバーウェイトとするポジションを維持しました。

信用格付けは、期を通じてAAA格、AA格など信用格付けの高い債券を中心に運用を行いました。種別配分では社債、地方債の組み入れを機動的に変化させながら非国債の組み入れを維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当期の分配金再投資基準価額騰落率は+16.6%となり、参考指数であるブルームバーグオーストラリア国債インデックス(Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース)の騰落率+17.4%を下回る結果となりました。

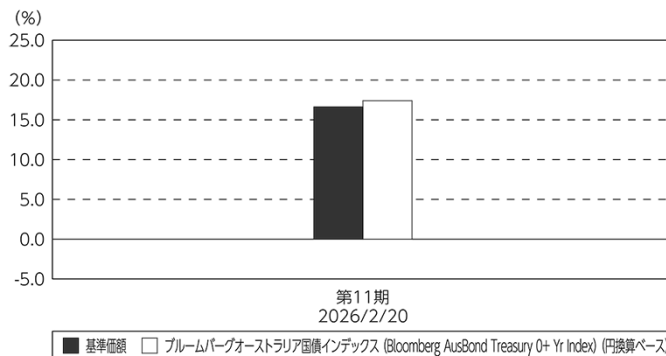
[プラス要因]

- ・信用スプレッドが縮小傾向となる中、投資適格社債や政府関連債をオーバーウェイトとしたことがプラス寄与となりました。

[マイナス要因]

- ・金利が上昇する局面において、デュレーション戦略で参考指数に対しオーバーウェイトとしたことがマイナス寄与となりました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) ブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) は、参考指数です。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、当期は見送りとさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第11期
	2025年2月21日～ 2026年2月20日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,010

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

主としてマザーファンドに投資を行い、マザーファンドを通じてオーストラリアドル建ての公社債などに投資を行います。また、実質外貨建資産の投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行わない方針です。

マザーファンドでは、ファンダメンタルズ分析とモデルに基づくクオンツ分析を併用して経済と市場価格の関係の調査・分析を行い、オーストラリアの金利水準や市況動向、信用格付けなどを総合的に勘案して投資銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。

中央銀行であるRBAは、2026年2月3日の金融政策決定会合で政策金利を3.85%に引き上げることを決定しました。ポートフォリオのデュレーションは、参考指数対比で小幅にオーバーウェイトとするポジションにて運用を開始する方針です。また、引き続き社債を中心とする非国債への配分を継続する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2025年2月21日～2026年2月20日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	161	1.320	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 74 ）	（ 0.605 ）	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 80 ）	（ 0.660 ）	購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 7 ）	（ 0.055 ）	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	15	0.126	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 2 ）	（ 0.016 ）	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 4 ）	（ 0.032 ）	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	（ 9 ）	（ 0.078 ）	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
合 計	176	1.446	
期中の平均基準価額は、12,178円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

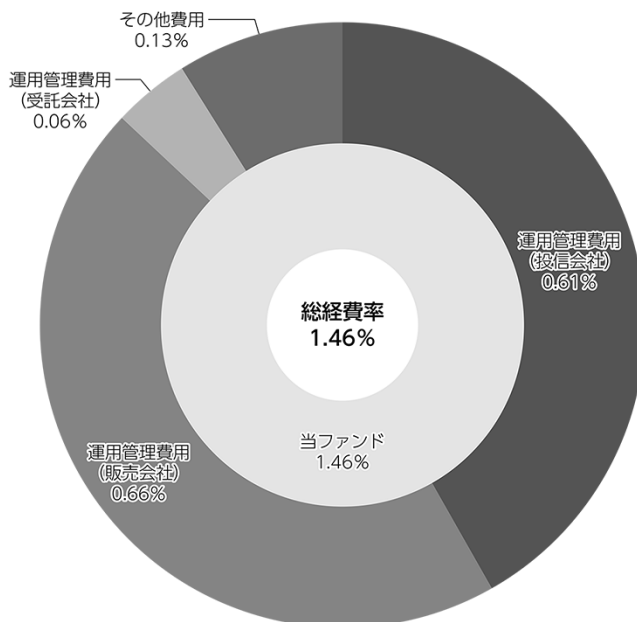
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.46%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2025年2月21日～2026年2月20日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
インベスコ オーストラリア債券 マザーファンド	千口 61	千円 216	千口 586	千円 1,980

（注）単位未満は切捨てています。

○利害関係人との取引状況等

（2025年2月21日～2026年2月20日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2026年2月20日現在）

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
インベスコ オーストラリア債券 マザーファンド	千口 14,292	千口 13,767	千円 53,715

（注）単位未満は切捨てています。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

（2026年2月20日現在）

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額	
インベスコ オーストラリア債券 マザーファンド	千円 53,715	% 100.0
コール・ローン等、その他	0	0.0
投資信託財産総額	53,715	100.0

（注）金額の単位未満は切捨てています。

（注）インベスコ オーストラリア債券 マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（11,758,685千円）の投資信託財産総額（11,767,949千円）に対する比率は99.9%です。

（注）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2026年2月20日における邦貨換算レートは、1オーストラリアドル=109.46円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2026年2月20日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	53,715,033
インベスコ オーストラリア債券 マザーファンド(評価額)	53,715,016
未収入金	17
(B) 負債	360,214
未払解約金	26
未払信託報酬	332,597
その他未払費用	27,591
(C) 純資産総額(A-B)	53,354,819
元本	39,253,929
次期繰越損益金	14,100,890
(D) 受益権総口数	39,253,929口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,592円

<注記事項>（当運用報告書作成時点では監査未了です。）

（貸借対照表関係）

期首元本額	40,102,347円
期中追加設定元本額	176,969円
期中一部解約元本額	1,025,387円

○損益の状況（2025年2月21日～2026年2月20日）

項 目	当 期
	円
(A) 有価証券売買損益	8,283,254
売買益	8,334,396
売買損	△ 51,142
(B) 信託報酬等	△ 689,163
(C) 当期損益金(A+B)	7,594,091
(D) 前期繰越損益金	4,043,958
(E) 追加信託差損益金	2,462,841
(配当等相当額)	(4,103,152)
(売買損益相当額)	(△ 1,640,311)
(F) 計(C+D+E)	14,100,890
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	14,100,890
追加信託差損益金	2,462,841
(配当等相当額)	(4,103,447)
(売買損益相当額)	(△ 1,640,606)
分配準備積立金	11,638,049

(注) (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 運用の指図に係る権限を委託するための費用として、委託者が受ける報酬の40%の金額を、(B)信託報酬等のうちの委託者報酬の中から支払っています。

(注) 収益分配金の計算過程は以下の通りです。
 計算期間末における費用控除後の配当等収益（1,089,720円）、費用控除後の有価証券売買等損益（5,793,363円）、信託約款に規定する収益調整金（4,103,447円）および分配準備積立金（4,754,966円）より分配対象収益は15,741,496円（1万口当たり4,010円）となりましたが、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、当期の分配を見合わせました。

○分配金のお知らせ

当期の収益分配は見送らせていただきました。

○約款変更のお知らせ

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書」を規定した条文および関連条文について、信託約款に所要の変更を行いました。（2025年4月1日）
- ・「信託期間」を規定した条文の信託期間を延長し、信託期間終了日を従来の2026年2月20日から2031年2月20日に変更するため、信託約款に所要の変更を行いました。（2025年11月19日）

インベスコ オーストラリア債券 マザーファンド

運用報告書

第23期

決算日 2026年2月20日

(計算期間：2025年2月21日から2026年2月20日まで)

運用方針	①豪ドル建ての公社債の中から、オーストラリアの金利水準や市況動向、信用格付等を総合的に勘案して選定した銘柄に投資を行います。 ②運用にあたっては、経済と市場価格の関係を調査・分析し意思決定を行うアクティブ運用を行います。調査・分析は、ファンダメンタルズ分析とモデルに基づくクオンツ分析を併用します。 ③外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
主要運用対象	豪ドル建ての公社債等を主要投資対象とします。
組入制限	①株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の30%以下とします。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<https://www.invesco.com/jp/ja/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) (参考指数)		債組入比率	純資産額
	円	騰落率	騰落率	騰落率		
19期(2022年2月21日)	28,583	△ 5.1	27,518	△ 4.6	99.1	18,250
20期(2023年2月20日)	29,842	4.4	28,873	4.9	98.6	15,696
21期(2024年2月20日)	32,688	9.5	31,391	8.7	97.8	14,121
22期(2025年2月20日)	33,007	1.0	31,485	0.3	98.2	11,860
23期(2026年2月20日)	39,016	18.2	36,962	17.4	98.6	11,767

(注) 基準価額は1万口当たりです。

(注) 当ファンドはベンチマークを定めていないため、参考指数としてブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) を掲載しています。当該参考指数は、計算日の前営業日のブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (オーストラリアドルベース) に計算日のオーストラリアドル為替レート (対顧客電信売買相場仲値) を乗じ、設定日を10,000として、当社で独自に指数化したものです。以下、同じです。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) (参考指数)		債組入比率
	円	騰落率	騰落率	騰落率	
(期首) 2025年2月20日	33,007	—	31,485	—	98.2
2月末	32,395	△ 1.9	30,881	△ 1.9	98.7
3月末	32,692	△ 1.0	31,118	△ 1.2	98.7
4月末	32,257	△ 2.3	30,753	△ 2.3	99.0
5月末	32,712	△ 0.9	31,152	△ 1.1	99.0
6月末	33,916	2.8	32,278	2.5	99.1
7月末	34,467	4.4	32,759	4.0	98.6
8月末	34,469	4.4	32,743	4.0	95.5
9月末	35,164	6.5	33,384	6.0	99.2
10月末	36,454	10.4	34,604	9.9	98.4
11月末	36,626	11.0	34,773	10.4	98.0
12月末	37,178	12.6	35,273	12.0	99.2
2026年1月末	38,347	16.2	36,331	15.4	98.0
(期末) 2026年2月20日	39,016	18.2	36,962	17.4	98.6

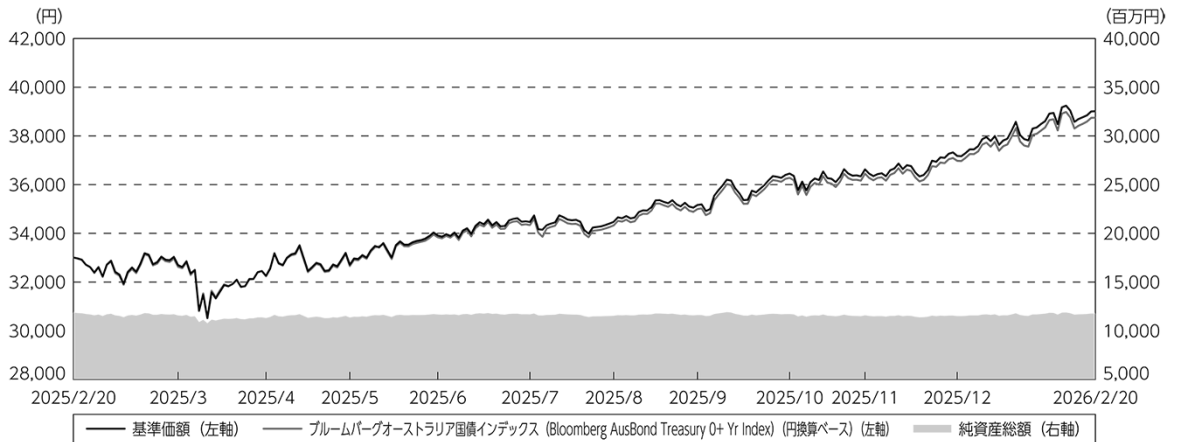
(注) 基準価額は1万口当たりです。

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2025年2月21日～2026年2月20日)



期首：33,007円
 期末：39,016円
 騰落率：18.2%

(注) ブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) は、期首 (2025年2月20日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) ブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) は、参考指数です。

○基準価額の主な変動要因

[上昇要因]

- ・オーストラリアドル建ての公社債などを主要投資対象としているため、保有する債券からのインカムゲイン (利息収入) が基準価額の上昇要因となりました。

[下落要因]

- ・幅広い年限で金利が上昇 (債券価格は下落) したことが基準価額の下落要因となりました。

投資環境

＜オーストラリア国債利回り＞

2年 4.24%(前期末3.93%) 5年 4.39%(同4.11%) 10年 4.73%(同4.53%)

＜対円為替レート＞

オーストラリアドル／円 109円46銭（前期末95円97銭）

※上記は当期末の数値です。

＜債券市場＞

当期のオーストラリア金利は幅広い年限で上昇しました。

期初にかけては、消費者物価指数（C P I）が鈍化したことや米国の大規模な関税措置により世界的な景気後退懸念が広まったことなどから、オーストラリア国債利回りは低下（債券価格は上昇）しました。2025年5月から10月中旬にかけては、米中貿易協議が進展するとの期待などからオーストラリア国債利回りが上昇、オーストラリア準備銀行（R B A）による利下げ観測の広がりなどからオーストラリア国債利回りが低下するなど一進一退の展開となりました。10月中旬から12月末にかけては、予想を上回るC P Iの発表などを受けて早期利下げ観測が後退し、R B A総裁が2026年の利上げ可能性を示唆したことなどを背景にオーストラリア国債利回りは上昇に転じました。期末にかけては、R B Aが利上げを実施したことなどからオーストラリア国債利回りは高水準で推移し、期を通してみると、当期のオーストラリア国債利回りは上昇しました。

＜為替市場＞

当期のオーストラリアドルは、対円で上昇しました。

期初から2025年4月ごろにかけては、米国の大規模な関税措置により世界的な景気後退懸念が広まったことなどから円高が進行し、オーストラリアドルは対円で下落しました。その後は、参院選を控え日本の財政悪化に対する懸念が高まったこと、日銀が追加利上げを行ったものの、植田総裁が2026年以降の利上げには慎重な姿勢を示したことなどを受け、オーストラリアドルは対円で底堅く推移しました。期末にかけても、R B Aによる利上げ観測の高まりなどを受けて、オーストラリアドルは対円で堅調に推移し、期を通してみると、オーストラリアドルは対円で上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

主として、オーストラリアドル建ての公社債などに投資を行いました。また、外貨建資産の投資にあたっては、為替ヘッジを行いませんでした。

ファンダメンタルズ分析とモデルに基づくクオンツ分析を併用して経済と市場価格の関係の調査・分析を行い、オーストラリアの金利水準や市況動向、信用格付けなどを総合的に勘案して投資銘柄を選定し、ポートフォリオを構築しました。

デュレーション戦略では、期初から2025年6月中旬までは参考指数並みとしました。6月中旬から9月末までは、参考指数に対し小幅にオーバーウェイトとしました。その後、11月末までは再び参考指数並みとしましたが、12月から期末までは参考指数に対し小幅にオーバーウェイトとするポジションを維持しました。

信用格付けは、期を通じてAAA格、AA格など信用格付けの高い債券を中心に運用を行いました。種別配分では社債、地方債の組み入れを機動的に変化させながら非国債の組み入れを維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当期の基準価額騰落率は+18.2%となり、参考指数であるブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) の騰落率+17.4%を上回る結果となりました。

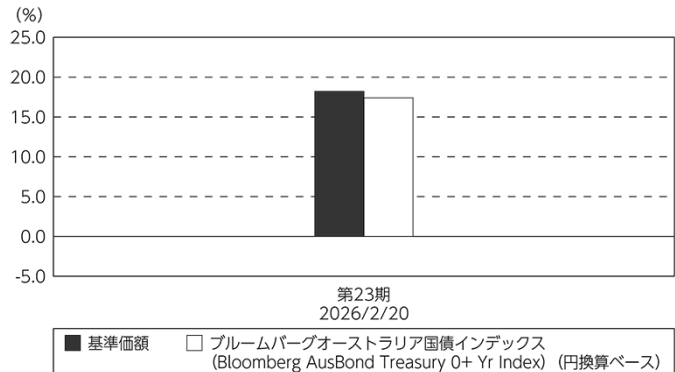
[プラス要因]

- ・信用スプレッドが縮小傾向となる中、投資適格社債や政府関連債をオーバーウェイトとしたことがプラス寄与となりました。

[マイナス要因]

- ・金利が上昇する局面において、デュレーション戦略で参考指数に対しオーバーウェイトとしたことがマイナス寄与となりました。

基準価額と参考指数の対比 (期別騰落率)



(注) ブルームバーグオーストラリア国債インデックス (Bloomberg AusBond Treasury 0+ Yr Index) (円換算ベース) は、参考指数です。

○今後の運用方針

主として、オーストラリアドル建ての公社債などに投資を行います。また、外貨建資産の投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行わない方針です。

ファンダメンタルズ分析とモデルに基づくクオンツ分析を併用して経済と市場価格の関係の調査・分析を行い、オーストラリアの金利水準や市況動向、信用格付けなどを総合的に勘案して投資銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。

中央銀行であるRBAは、2026年2月3日の金融政策決定会合で政策金利を3.85%に引き上げることを決定しました。ポートフォリオのデュレーションは、参考指数対比で小幅にオーバーウェイトとするポジションにて運用を開始する方針です。また、引き続き社債を中心とする非国債への配分を継続する方針です。

○当ファンドのデータ

(2026年2月20日現在)

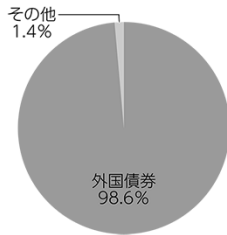
【組入上位10銘柄】

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率 %
1	オーストラリア国債 1% 2030/12/21	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	8.7
2	オーストラリア国債 2.5% 2030/5/21	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	8.6
3	クイーンズランド州債 1.75% 2034/7/20	特殊債券	オーストラリアドル	オーストラリア	5.0
4	クイーンズランド州債 1.75% 2031/8/21	地方債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	4.8
5	オーストラリア国債 1.25% 2032/5/21	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	4.2
6	KFW 3.2% 2026/9/11	特殊債券	オーストラリアドル	ドイツ	3.7
7	オーストラリア国債 2.75% 2029/11/21	国債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	3.5
8	南オーストラリア州債 1.75% 2032/5/24	地方債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	3.1
9	南オーストラリア州債 3% 2026/7/20	地方債証券	オーストラリアドル	オーストラリア	2.8
10	ASIAN INFRASTRUCTURE INV 1% 2026/5/6	特殊債券	オーストラリアドル	中国	2.8
組入銘柄数				42銘柄	

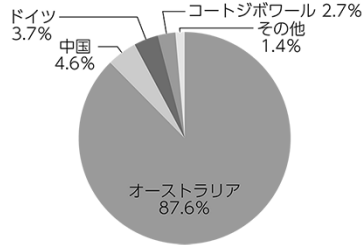
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国（地域）につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

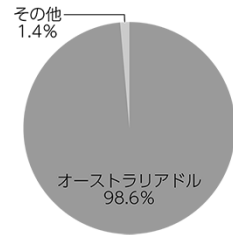
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年2月21日～2026年2月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 5 (5)	% 0.016 (0.016)	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	5	0.016	
期中の平均基準価額は、34,723円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2025年2月21日～2026年2月20日)

公社債

		買 付 額	売 付 額	
外 国	オーストラリア	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	
		国債証券	18,052	13,577
		地方債証券	6,052	17,525
	社債券(投資法人債券を含む)	—	—	
			(10,000)	

(注) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれていません)。

(注) 単位未満は切捨てています。

(注) () 内は償還等による増減分です。

(注) 社債券(投資法人債券を含む)には新株予約権付社債(転換社債)は含まれていません。

○ 利害関係人との取引状況等

(2025年2月21日～2026年2月20日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年2月20日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
オーストラリア	千オーストラリアドル 122,500	千オーストラリアドル 106,018	千円 11,604,838	% 98.6	% —	% 47.4	% 37.0	% 14.2
合 計	122,500	106,018	11,604,838	98.6	—	47.4	37.0	14.2

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当期末の純資産総額に対する邦貨換算金額(評価額)の比率です。

(注) 信用格付については、原則として価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 時価については、原則として金融商品取引業者、外国証券会社および価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 金額の単位未満は切捨てています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末						償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
オーストラリア	%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円			
国債証券	オーストラリア国債	2.75	500	487	53,342	2027/11/21	
	オーストラリア国債	2.75	3,000	2,880	315,267	2028/11/21	
	オーストラリア国債	2.75	4,000	3,779	413,754	2029/11/21	
	オーストラリア国債	2.5	10,000	9,278	1,015,569	2030/5/21	
	オーストラリア国債	1.0	11,000	9,381	1,026,942	2030/12/21	
	オーストラリア国債	1.25	5,500	4,529	495,819	2032/5/21	
	オーストラリア国債	3.75	2,500	2,341	256,248	2034/5/21	
	オーストラリア国債	3.5	2,000	1,824	199,657	2034/12/21	
	オーストラリア国債	2.75	1,500	1,274	139,469	2035/6/21	
	オーストラリア国債	4.25	500	479	52,470	2035/12/21	
	オーストラリア国債	4.25	3,000	2,871	314,299	2036/3/21	
	オーストラリア国債	4.25	1,000	952	104,292	2036/10/21	
	オーストラリア国債	3.75	800	724	79,352	2037/4/21	
	オーストラリア国債	3.25	2,000	1,670	182,874	2039/6/21	
	オーストラリア国債	2.75	2,000	1,518	166,254	2041/5/21	
オーストラリア国債	3.0	3,000	2,151	235,530	2047/3/21		
オーストラリア国債	1.75	1,000	506	55,490	2051/6/21		
地方債証券	豪州首都圏特別地域債	2.25	2,000	1,857	203,361	2029/5/22	
	豪州首都圏特別地域債	5.0	1,500	1,447	158,399	2035/10/23	
	ニューサウス・ウェールズ州債	1.25	2,000	1,710	187,196	2030/11/20	
	ニューサウス・ウェールズ州債	1.75	3,000	2,333	255,417	2034/3/20	
	ニューサウス・ウェールズ州債	2.25	4,000	2,595	284,127	2041/5/7	
クイーンズランド州債	1.75	6,000	5,121	560,551	2031/8/21		

インベスコ オーストラリア債券 マザーファンド

銘	柄	当 期 末					
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
オーストラリア		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円		
地方債証券	南オーストラリア州債	3.0	3,000	2,987	326,958	2026/7/20	
	南オーストラリア州債	1.75	4,000	3,327	364,182	2032/5/24	
	TREASURY CORP ビクトリア州債	1.5	2,000	1,676	183,535	2031/9/10	
	TREASURY CORP ビクトリア州債	2.4	1,000	536	58,777	2050/8/18	
	ビクトリア州債	2.5	3,000	2,786	305,048	2029/10/22	
	ビクトリア州債	1.5	2,000	1,726	189,006	2030/11/20	
	特殊債券 (除く金融債)	AFRICAN DEVELOPMENT BANK	1.1	3,000	2,919	319,622	2026/12/16
		ASIAN INFRASTRUCTURE INV	1.0	3,000	2,981	326,324	2026/5/6
		ASIAN INFRASTRUCTURE INV	4.0	2,000	1,972	215,903	2028/5/17
		欧州投資銀行	0.75	2,000	1,899	207,969	2027/7/15
欧州投資銀行		1.3	3,000	2,531	277,110	2031/1/27	
KFW		3.2	4,000	3,975	435,112	2026/9/11	
NATIONL HOUSING FIN		2.38	2,000	1,872	204,961	2029/3/28	
クイーンズランド州債		1.75	7,000	5,360	586,786	2034/7/20	
南オーストラリア州債		1.75	3,000	2,316	253,512	2034/5/24	
TREASURY CORP ビクトリア州債		2.0	2,000	1,498	163,986	2035/9/17	
ビクトリア州債	2.25	2,000	1,579	172,872	2034/11/20		
普通社債券 (含む投資法人債券)	DEXUS FINANCE PTY	3.0	1,500	1,316	144,122	2032/2/3	
	GENERAL PROPERTY TRUST	2.849	1,200	1,035	113,354	2032/2/20	
合 計					11,604,838		

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場仲値により邦貨換算したものです。

(注) 時価については、原則として金融商品取引業者、外国証券会社および価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 金額の単位未満は切捨てています。

○投資信託財産の構成

(2026年2月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	11,604,838	98.6
コール・ローン等、その他	163,111	1.4
投資信託財産総額	11,767,949	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨てています。

(注) 当期末における外貨建純資産(11,758,685千円)の投資信託財産総額(11,767,949千円)に対する比率は99.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2026年2月20日における邦貨換算レートは、1オーストラリアドル=109.46円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年2月20日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	11,798,771,543	
コール・ローン等	82,542,829	
公社債(評価額)	11,604,838,385	
未収入金	30,822,115	
未収利息	75,824,765	
前払費用	4,743,449	
(B) 負債	31,317,200	
未払金	31,075,419	
未払解約金	241,781	
(C) 純資産総額(A-B)	11,767,454,343	
元本	3,016,077,314	
次期繰越損益金	8,751,377,029	
(D) 受益権総口数	3,016,077,314口	
1万口当たり基準価額(C/D)	39,016円	

<注記事項>

(貸借対照表関係)

1. 期首元本額	3,593,249,260円
期中追加設定元本額	8,823,144円
期中一部解約元本額	585,995,090円
2. 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額	
インベスコ オーストラリア債券ファンド (毎月決算型)	3,002,309,881円
インベスコ オーストラリア債券ファンド (年1回決算型)	13,767,433円
合計	3,016,077,314円

○損益の状況 (2025年2月21日～2026年2月20日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	316,019,219	
受取利息	315,876,935	
その他収益金	142,284	
(B) 有価証券売買損益	1,623,729,556	
売買益	1,693,968,983	
売買損	△ 70,239,427	
(C) 保管費用等	△ 1,813,633	
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,937,935,142	
(E) 前期繰越損益金	8,266,852,119	
(F) 追加信託差損益金	21,603,326	
(G) 解約差損益金	△1,475,013,558	
(H) 計(D+E+F+G)	8,751,377,029	
次期繰越損益金(H)	8,751,377,029	

(注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 保管費用等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○約款変更のお知らせ

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書」を規定した条文および関連条文について、信託約款に所要の変更を行いました。(2025年4月1日)